

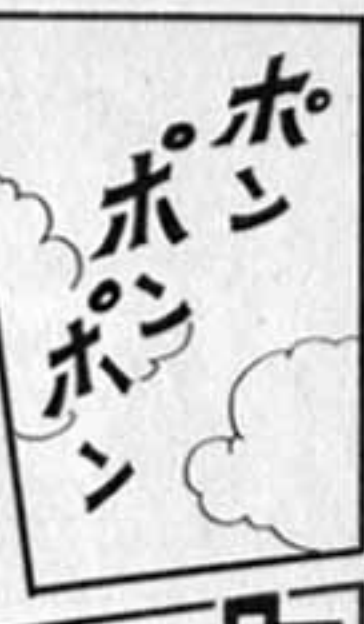


へいあんじだい うじがわ

# 平安時代の宇治川







へいあんじだい  
 平安時代、  
 貴族は宇治に  
 たくさんの  
 別業(別荘)を  
 もうけました。  
 それらが  
 しだいに寺院化  
 されていくのは、  
 平安時代も  
 後半の頃。  
 彼らは  
 極楽往生を  
 願って  
 浄土の世界を  
 築こうと  
 したのです。  
 永承七年  
 (一一〇五年)  
 関白藤原頼通  
 によって  
 建てられた  
 この平等院は、  
 まさに  
 その最たる  
 ものでした。



見事じゃ



まこと  
極楽浄土に  
ございます



極楽よのう



政治がみだれ、  
社会が不安に  
なるにつれ、  
浄土信仰が  
広まりました。  
念仏をとなえて  
阿弥陀如来を  
信仰すれば、  
死んでからも  
幸せで  
極楽に  
行けると  
多くの人が  
信じて  
いました。



このお堂には

やはり  
日本一の  
仏像が  
ふさわしい



誰か  
よい  
仏師は  
おらぬか



阿弥陀如来が  
よいが  
やはり  
あの男かのう...



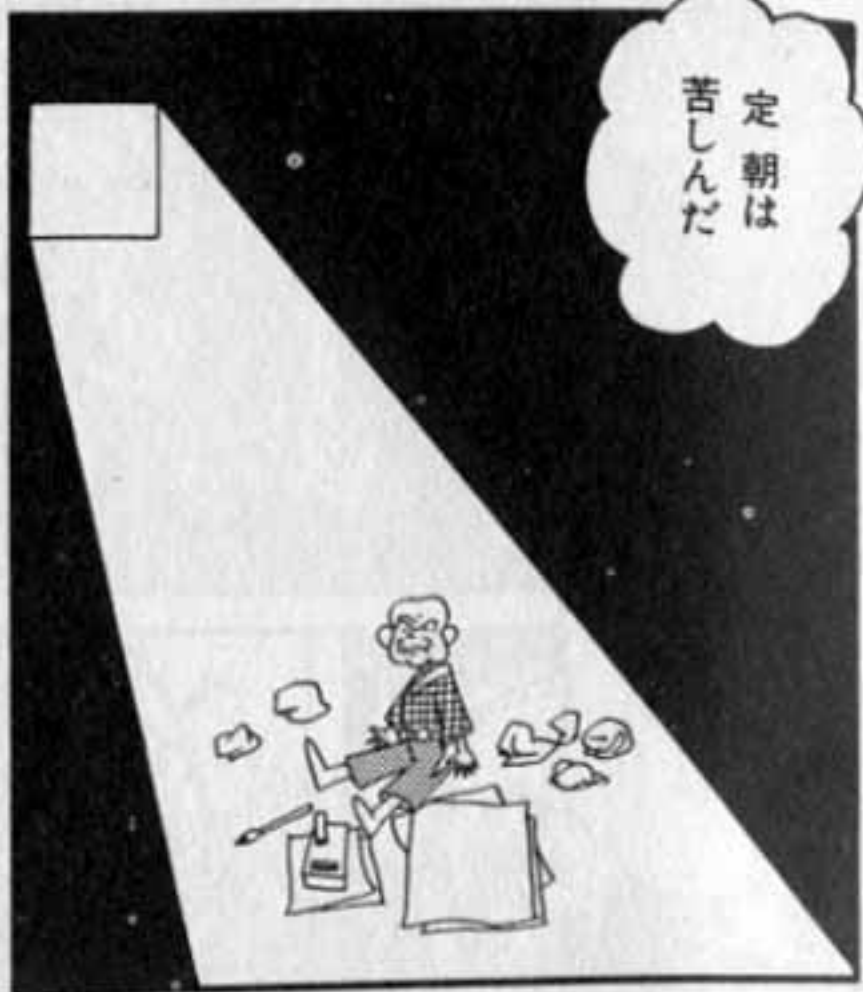
定朝を  
つれて  
まいれ



定朝(ヨシチカ) 京都に新造りの東照宮に住み、その名を以て(定朝)を冠するなどの「定朝」として、仏像を彫ったといわれています。定朝の作風は、日本的な和風彫刻の典型とされ、後世に受け継がれました。

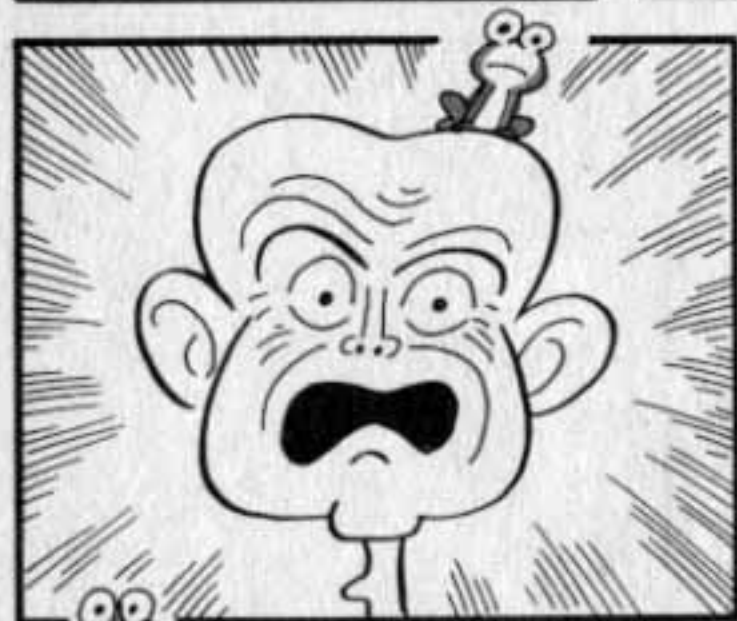
















寄木造り 木造彫刻の技法の一つ。一材以上を合わせると強度を造ります。





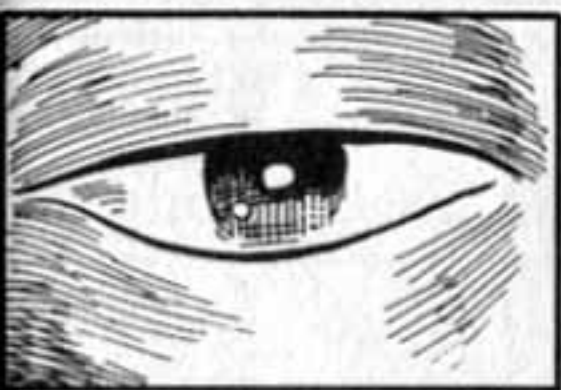
一〇五三年  
 定朝の作った  
 阿弥陀如来は  
 華々しく  
 宇治の  
 平等院に  
 運ばれ  
 盛大な  
 法要が  
 営まれた。



この仏像が納められた  
 阿弥陀堂は屋根に一對の  
 鳳凰があることから  
 鳳凰堂と呼ばれる  
 ようになった

平等院の阿弥陀如来は  
 国宝である



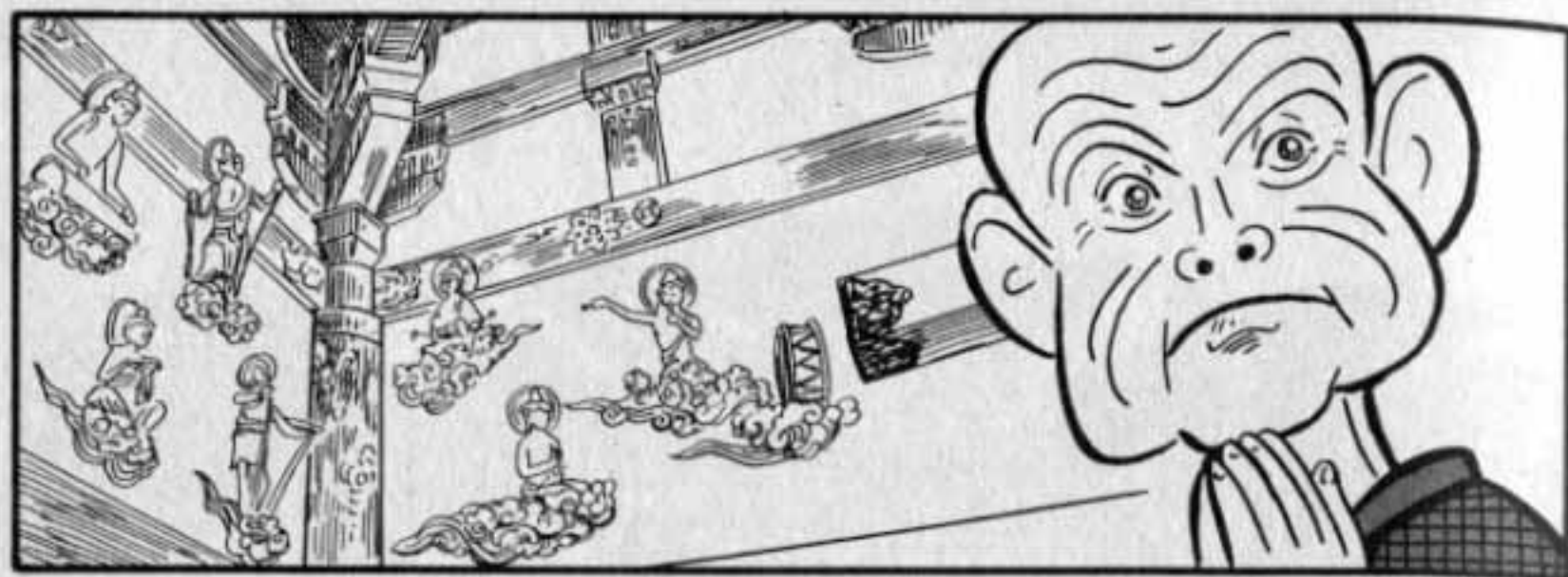


さすがに  
見事じゃ  
この仏像が放つ  
光はまるで  
満月のようにだ

特に  
お顔が  
美しいのう







菩薩たちよ

人々を  
極楽の  
世界に  
導きくだされや

人々は  
この宇治の  
平等院を  
見るために  
遠くからも  
集まりました。  
そして、  
定朝の  
作った  
阿弥陀如来は、  
極楽浄土の  
仏として  
人々に  
親しまれ  
ました。

山からすぐ出た風光明美な地  
にある。  
平等院は宇治川畔に  
その優雅な姿を残し、  
多くの観光客を  
今も集めています。

平等院は  
平安時代を  
代表する  
文化遺産  
として  
これからも  
宇治川の  
流れと  
ともに  
守り  
つがれる  
ことで  
しょう。



さて、  
京の都では  
武士の  
力が大きくなり  
ついに  
貴族にかわって  
武家が  
政権をとる  
時代が  
やってくる  
わけですが、  
平安時代末期  
から鎌倉時代  
の初めに  
かけて京都  
はもちろん、  
ここ宇治の  
地も交通の  
要衝とい  
う条件も  
重なって  
断続的に  
つづく  
争乱に  
まきこま  
れていく  
のです。

